

事前評価個表

| | | | | |
|--------------------|--|------------------------------|--------------|-----------------------|
| 事業名 | 森林環境保全整備事業（国有林） | | 事業計画期間 | 平成31年度～平成35年度（5年間） |
| 事業実施地区名 （都道府県名） | （しもきた） 下北森林計画区 （青森県） | | 事業実施主体 | 東北森林管理局 下北森林管理署 |
| 事業の概要・目的 | <p>本計画区の対象は、青森県下北半島に位置し、南側は三八上北森林計画区に接し、東側は太平洋、西側は陸奥湾、北側は津軽海峡に臨む、むつ市をはじめとする1市1町3村にまたがる約8万7千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、朝比奈岳（874m）、釜臥山（879m）等から構成される恐山火山群、燧岳（781m）を中心とする北部の火山地、縫道石山（626m）等の山地を中心とし部分的に海岸段丘が発達している西部の山地、東通地区の丘陵地帯の4つに大別される。</p> <p>主要河川は、恐山火山群から津軽海峡に注ぐ大畑川と陸奥湾へ注ぐ川内川、東通地区の丘陵地帯から南流して陸奥湾に注ぐ田名部川等がある。</p> <p>本計画区には、恐山をはじめとして優れた自然環境を有する地域が多く、「恐山山地森林生態系保護地域」に設定しているほか、「下北半島国定公園」等に指定されている。</p> <p>これらの地域は薬研温泉等の温泉地、恐山等の景勝地など観光資源に恵まれており、登山、散策等の森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>事業計画における森林の現況は、人工林が約3万ha、天然林が約5万3千haとなっている。人工林の主な樹種別面積はスギが約2万4千ha、アカマツが約3千ha、カラマツが約1千haで、スギが人工林全体の約82%を占めている。天然林は主な樹種であるヒバが約2万7千haで、天然林全体の約52%を占めている。</p> <p>人工林の齢級構成をみると、11齢級をピークとして、一般的な間伐適期である7齢級から8齢級の林分が約2割、主伐期である10齢級以上の林分が約6割となっており、主伐、間伐を見据えた路網整備や主伐後の確実な更新とその後の保育が必要となっている。</p> <p>本計画区の国有林野の87%が保安林に指定されており、水源涵養や土砂流出防備等に重要な役割を果たしている。このうち、むつ市城ヶ沢地区や東通村の太平洋沿岸北東部は、防風保安林に指定されており、後背地にある耕作地等の保全に重要な役割を果たしている。</p> <p>林業・木材産業については、日本三大美林に数えられる青森ヒバの産地であることから、古くからヒバの生産・加工で栄えてきた地域であるが、近年はその資源量の減少等も影響し、専門の工場は数社残る程度であるが、国有林では将来のヒバ林の拡大・充実が図られるようヒバ林の復元を目的としたヒバ林復元プロジェクトを進めている。</p> <p>一方、近隣地域で新たな大型木材加工工場や木質バイオマス発電施設の建設・稼働が進み、スギ等の木材需要が増加していることから、国有林野からの木材の安定供給を担う役割が求められている。</p> <p>本事業においては、国有林材の安定的・持続的供給に努めつつ、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とし、コンテナ苗を活用した植栽等の更新作業、列状間伐や下刈回数削減等による保育作業の低コスト化、及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施する。</p> | | | |
| | 主な事業内容 | 森林整備 | 更新面積 保育面積 | 1,874 ha 11,691 ha |
| | | 路網整備 | 開設延長 | 9.1 km |
| | 総事業費 | 9,532,392千円（税抜き 8,826,289千円） | | |
| 費用便益分析 | 総便益（B） | 23,620,944千円 | | |
| | 総費用（C） | 11,397,377千円 | | |
| | 分析結果（B/C） | 2.07 | | |

| | |
|-------------------------------|---|
| <p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p> | <p>森林整備を行うことにより公益的機能の発揮と木材生産等を通じた地域振興への寄与が発揮されることから、事業実施の必要性が認められる。</p> |
| <p>評価結果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養等の公益的機能の発揮やヒバ資源の復元、スギ等の安定供給に関する役割を果たしていくため、本事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用便益分析の結果及び低コスト化、効率的な森林整備の取組から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、保育等の適切な森林整備や、これと連携した路網整備により、森林の有する公益的機能を十分発揮させるものとなっていることから事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的・効果的に計画されているものと認められる。</p> |

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

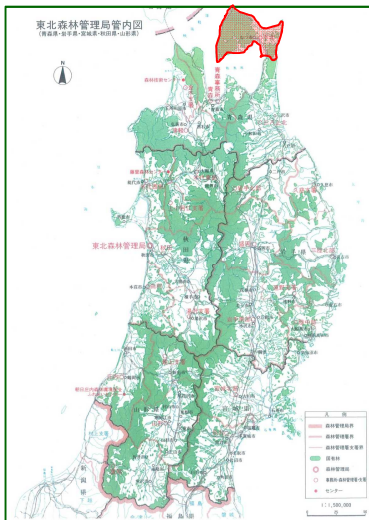
事業名：森林環境保全整備事業
 施行箇所：下北森林計画区

都道府県名：青森県
 (単位：千円)

| 大 区 分 | 中 区 分 | 評 価 額 | 備 考 |
|-----------------------|---|------------|-----|
| 水源涵養 ^{かん} 便益 | 洪水防止便益 | 5,112,116 | |
| | 流域貯水便益 | 1,977,502 | |
| | 水質浄化便益 | 4,386,065 | |
| 山地保全便益 | 土砂流出防止便益 | 6,726,991 | |
| 環境保全便益 | 炭素固定便益 | 2,993,040 | |
| 木材生産等便益 | 木材生産等経費縮減便益 | 8,451 | |
| | 木材利用増進便益 | 5,939 | |
| | 木材生産確保・増進便益 | 2,129,578 | |
| 森林整備経費縮減等便益 | 森林整備促進便益 | 281,262 | |
| 総 便 益 (B) | | 23,620,944 | |
| 総 費 用 (C) | | 11,397,377 | |
| 費用便益比 | $B \div C = \frac{23,620,944}{11,397,377} = 2.07$ | | |

森林環境保全整備事業 下北森林計画区 青森県 下北森林管理署事業概要図

下北森林計画区位置図
(青森県下北森林管理署)



主な森林整備位置図



二股山国有林 (除伐)



八森山国有林 (植付)



松山国有林 (保育間伐)



田野沢山国有林 (下刈)



入込山国有林 (ガベヤマ沢林道専用道開設)

